



チャペルコンサート

—オルガニスト大平健介による—

2026年

3月14日 土

14:00開演 (13:30開場)

途中休憩なし

玉川学園には、チャペルと礼拝堂にタイプが異なる2台のパイプオルガンが設置されています。今回、国内外で活躍されているオルガニスト・大平健介氏をお招きし、“チャペルコンサート(辻オルガン)”を開催します。当日は演奏とお話しもしていただきます。

玉川学園は、大変自然に恵まれた環境にあります。ぜひご来場いただき、自然の風を感じながら人の心に深く響くパイプオルガン演奏をお楽しみください。

会場 玉川学園チャペル

料金 2,000円(要申込)

出演 大平健介(オルガニスト)

2016年IONニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝

コーディネーター 千葉葉子

玉川大学継続学習センター講師

プログラム

【代表曲】

J.S.バッハ

トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565

J.S.バッハ

コラールパルティータ

『喜び迎えん、慈しみ深きイエスよ』

BWV 768

K.ヨハンセン

希望の歌

ほか



プロフィール

大平健介（オルガニスト） 2016年IONニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝

東京藝術大学卒業、同大学院修了。

2010年よりDAAD給費留学生として渡独。ヴュルツブルク及びミュンヘン音楽大学にて教会音楽と現代音楽を学ぶ。2013年国家演奏家資格取得、文化庁新進芸術家海外研修員。在学中の2010-2015年にはヴュルツブルク・バッハ・カンタータクラブを立ち上げ、音楽監督を務める。

2016年IONニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝。

2016-17年にはシュトゥットガルト・ボトナングにてカントールを務めた他、ゾリテュード宮殿礼拝堂におけるコンサートシリーズの音楽監督も兼任。

以後2020年まで、バーデン＝ヴュルテンベルク州主教会-シュティフツ教会専属オルガニストとして多岐にわたる音楽プロジェクトに携わった。ソリストとしてはこれまでに聖母教会（ドレスデン）、マドレーヌ寺院（パリ）、聖ポール大聖堂（ロンドン）等から招待を受けている。

2021年に日本へ帰国し、現在は聖ヶ丘教会首席オルガニスト及びアンサンブル室町芸術監督を務める。

第一回IOOF国際オルガンオンラインフェスティバルではアジアを代表するオルガニストの一人として選出、またNHK-FM「リサイタル・パッシオ」では49年ぶりの大改修を経たNHKホールのオルガンお披露目公演に抜擢されるなど、日本国内外において注目されている。

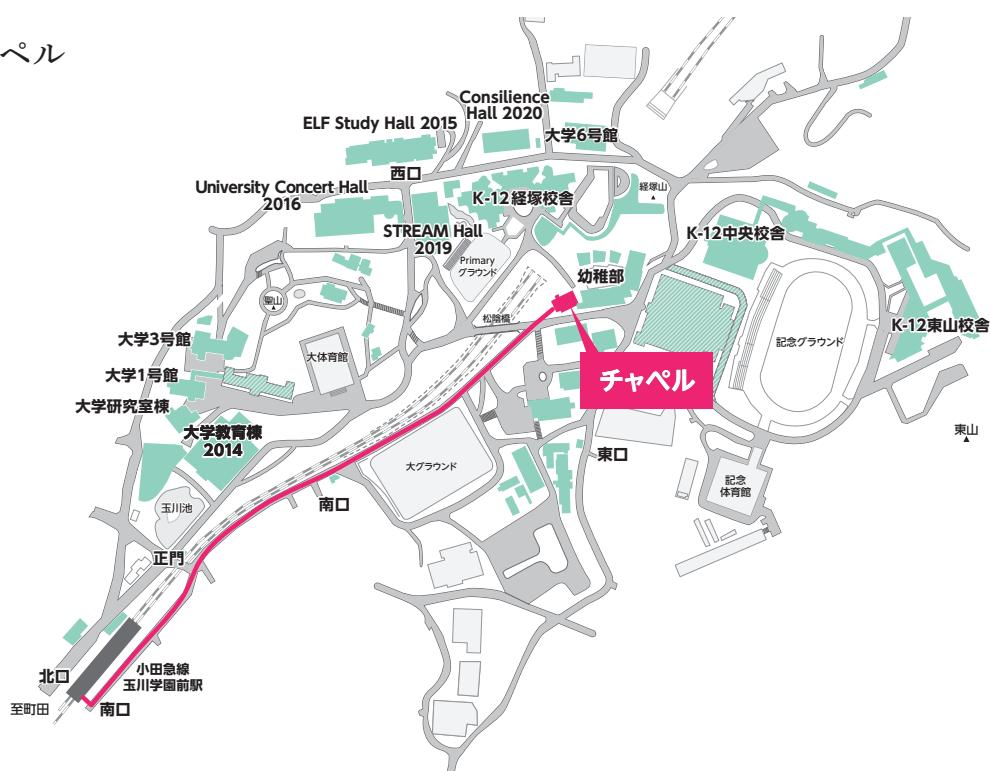


会場までのアクセス

会場：玉川学園チャペル

小田急線「玉川学園前」駅

南口より徒歩 約10分



※就学前のお子様のご同伴については、事前に事務局へご相談ください。 ※客席内での写真撮影・録音・録画は、固くお断りいたします。